

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名	児童・生徒用パソコン整備事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	宮川 里佳
	施策の柱	31	学力の向上			所属班	総務施設班	(内線)	5312
予算科目	会計一般	款 10	項 1	目 2	事業連番 10612	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	児童・生徒の情報教育用として、パソコン教室のパソコンを整備する事業。国の補助事業による導入をきっかけに開始し、現在市単独での購入を行っている。情報化の進展により、導入台数が増加し、現在1クラスあたり1人1台1台利用できるようになった。平成29年3月に4校分(166台)、平成30年9月に1校分(41台)がリース満了となった。平成31年8月に5校分(187台)がリース満了となり、導入後全学校が5年以上パソコン機器を更新していないため、平成31年9月より市内全小中学校のリース契約を行い、1クラスあたり1人1台のパソコンを整備する。 平成32年1月にWindows7がサポート終了となるため、どうしてもWindows7を使用する場合はライセンスを購入しなければならない。全国学力調査中学英語におけるOSのバージョンはWindows7以上、HDDは空き容量2GB以上、メモリ4GB以上、USB空きポート1ポート以上(調査用USBヘッドセットで利用)。
【業務の流れ】	リース満了後の機器更新における機種選定や、業者の手配、リース等の契約、機器導入検査、支払い業務等を行う。プロジェクタ、スキャナ、デジカメは学校で整備してもらう。
【主な予算費目】	使用料及び賃借料
【意見や要望】	支援学級の児童・生徒が交流学級と一緒に授業を受ける場合は、パソコンが1人当たり1台利用できない学校がある。マルチモニター、ヘッドホン等も整備してほしいと要望があがっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	市内全小中学校に配備している児童・生徒用パソコン等395台 (PC385台、サーバー10台) の維持管理及び機器リースの契約を行った。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		市内全小中学校に配備している児童・生徒用パソコン3400台 (児童・生徒用PC390台、教師用PC10台、サーバー10台) の維持管理及び機器リースの契約を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 校	予算の主な増減の理由
→ ア: 整備する学校数	台	平成31年(2019年)9月より全小中学校のパソコン教室のパソコンリース開始(児童・生徒用パソコン390台、教師用パソコン10台、サーバー10台)による増
イ: パソコン等配備台数	台	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
児童・生徒		(単位) 人
		→ ア: 小学校児童数
		イ: 中学校生徒数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
パソコン機器の充実を図る		(単位) 台
		→ ア: 授業時における児童・生徒1人当たりの台数
		イ:
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
適切な学習環境になる。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込	
① 活動指標	ア 校		10	10	10	10	10	10	10	10	
	イ 台		392	392	392	392	395	395	395	395	
② 対象指標	ア 人		4,453	4,548	4,200	4,694	4,200	4,200	4,200	4,200	
	イ 人		1,912	1,968	1,800	1,984	1,800	1,800	1,800	1,800	
③ 成果指標	ア 台		1	1	1	1	1	1	1	1	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	16,771	10,103	9,193	9,192	20,327	28,367	28,367	28,367
		(A) 事業費計	千円	16,771	10,103	9,193	9,192	20,327	28,367	28,367	28,367
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	593	796	1,064	398	398	398	398
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	3	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	40	150	200	270	100	100	100		
	(B) 人件費計	千円	0	593	796	1,064	398	398	398		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	16,771	10,696	9,989	10,256	20,725	28,765	28,765		

事務事業名	児童・生徒用パソコン整備事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 長期継続契約等にて例年同様の賃貸借を行うため現状維持が可能である。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 1人1台の機器の整備ができたことにより、現状維持が妥当である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 教育上必要である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 リース契約の統一化を図っており、競争入札対象機器の台数を増やすことで一台当りの価格の削減が見込まれる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で対応しているので、削減余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内の全学校を対象としており、特定の学校に偏っていない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 学校の授業で使用するものであるため、市で整備することは妥当である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

1人1台の機器を整備できており特に問題はない。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					